

PFI(BTO方式)		県立長岡屋内総合プール(仮称)整備・運営事業《新潟県》		
人口:約232万人				
<p>■ 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国体や国際競技会の開催及び年間を通じた競泳等の競技力向上、水泳を通じたスポーツ振興のため、基幹スポーツ施設の一つとして県立長岡屋内総合プールを整備。</li> </ul>				
<p>■ 事業実施の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国体の開催にあたり、市営プールが国際大会の基準に満たないため、市所有の同じ公園内に県が屋内総合プールを整備することとなった。市営プールについては、本施設と競合しないプールに機能転換を図ることとした。</li> </ul>				
<p>■ PPP/PFI手法導入のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PFI手法の採用により、財政負担額の軽減に加え、効率的な施設整備・維持管理が実施できること、事業者による弾力的な施設運営が可能となり、施設利用者ニーズの変化に柔軟に対応したきめ細やかなサービス提供が期待できることから、本手法を導入することとした。</li> <li>国体開催に合わせて施設を整備し、国体終了までを第一次運営期間(利用収入は県の収入)、国体終了後第二次運営期間(利用収入は事業者の収入。ただし、競技力向上・大会等の利用により得る利用収入は県の収入)としている。</li> </ul>				
《事業データ》				
施設規模	敷地面積:33,975.51㎡ 延床面積:15,094.15㎡			
	競泳メインプール(50m国際公認、25m一般公認)／サブプール(飛込プール(国際公認)／観客席(固定2,000席、仮設1,000席)／自由提案施設(温浴プール、トレーニングルーム等)			
事業方式	PFI(BTO方式)			
事業類型	混合型			
事業期間	平成17年7月～平成35年3月(17年8ヶ月) (設計・建設:約3年／第一次維持管理・運営:約2年／第二次維持管理・運営:約13年)			
官民の役割分担	<p>【公共の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会開催業務(誘致・会場設営・大会運営等)※大規模大会等</li> <li>競技力向上利用に係る業務(選手強化・育成業務)</li> </ul> <p>【民間事業者の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設業務</li> <li>維持管理業務</li> <li>運営業務(利用受付、競技力向上・大会専用利用支援、プール等監視、水質管理等、水泳教室開催、自由提案事業(任意))</li> </ul>			
	<p>&lt;業務分担のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>競技力向上利用に係る業務については、自治体の施策に関することであるため、県が実施。</li> </ul>			
事業費	約113億円(税込、落札金額)			
VFM	特定事業選定時	3.5%～7.5%	事業者選定時	24.8%
事業者	◎(株)大林組、(株)梓設計、三機工業(株)、(株)新潟ビルサービス◆、(株)日本水泳振興会、(株)山崎組◆			
◎は代表企業 ◆は地元企業	【協力企業】(株)細貝建築事務所◆			
応募グループ	6グループ			
スケジュール	平成15年9月	基本計画策定		
	平成16年3月	実施方針公表		
	平成16年6月	特定事業の選定		

	平成16年12月	入札公告
	平成17年4月	落札者決定
	平成20年8月	供用開始
活用した制度等	安全・安心な学校づくり交付金	
<p>■ PPP/PFI手法導入の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の利用者動線の取り方や、競技力向上利用のための営業時間変更、大型映像機器搬入への対応等に事業者のノウハウが活用されており、きめ細かい対応が可能となっている。</li> <li>・健康増進施設として、事業者の提案により温浴プール、サウナ、トレーニングルーム、スタジオ、畳の間、売店等を完備し、サブプールと一体的に利用できるよう配置された。</li> <li>・平成27年度の年間施設利用者数は約16万人で、年間目標達成率117.6%、前年度比103.6%と良好な稼働状況となっている。</li> <li>・県は自らの収入を確保するため、本施設のネーミングライツ(命名権)を平成20年4月に公募により地元企業に年間1千万円(5年間)(平成25年4月からは年間500万円で5年間))で売却し、施設名を「ダイエープロビスフェニックスプール」とした。</li> </ul> <p>■ 地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札者決定基準において「地域経済への配慮」の項目(4点/定性点60点)を設け、地域企業等との協力体制や、地域の人材活用等地域社会への貢献策について優れた提案を求めた。</li> <li>・その結果、各グループから地元人材の雇用や地元企業への業務発注等、地域経済に配慮した提案がなされた。選定されたグループにも地元企業が参画しており、地域経済の活性化に繋がっている。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">(出所) ダイエープロビスフェニックスプール公表資料</p>		
<p>■ 参考URL</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(新潟県HP) <a href="http://www.pref.niigata.lg.jp/kaikaku/1194538565650.html">http://www.pref.niigata.lg.jp/kaikaku/1194538565650.html</a></li> </ul>		